

1 学習に取り組んでいる主な分野

☒ 生物多様性	☐ 海洋	☐ 防災・減災	☐ 気候変動
☐ エネルギー	☒ 環境	☐ 文化多様性	☒ 世界遺産・文化財
☐ 国際理解	☐ 平和	☐ 人権	☒ ジェンダー平等
☒ 福祉	☐ 生産と消費	☐ その他（ ）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校区には豊かな自然が多く残っており、また、学習を支援して頂ける人材や施設も豊富である。このような中、本校では、環境教育と福祉教育を中心に据えながら、各学年に応じた活動を設定してE S Dに取り組んでいる。

E S Dを推進するにあたっては、主として生活科や総合的な学習の時間において、他者や社会、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」を尊重できる児童の育成をめざしている。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 高齢者体験や介護について実習しながら考えていく「心のキャッチボール」

地域に高齢者介護施設の『延寿苑』があり、毎年4年生と交流を行っている。近年は直接対面での交流が難しいので、延寿苑スタッフのサポートを依頼して、リモートで施設見学や、車椅子等の体験活動を行った。

施設スタッフの説明を聞いたり、高齢者と支える人々の身になって、いろいろな体験をしたりすることで、高齢者の気持ちを感じながら、リモートでの交流や、高齢者との方を援助・介護をする計画を立て、支え合いながら共に生きる社会をつくっていくために、自分たちができることを考え、実践をすすめている。



○ 地域の自然環境を向上させることをめざした「ホタルプロジェクト」

高取小学校の校区では、以前はヘイケボタル・ゲンジボタルが多数生息し、三池山の麓ではヒメボタルも見られるという大牟田でも珍しい地域である。しかし、近年はその数も減少の一途をたどり、さらには毎年のように大雨洪水にともなって河川の環境も水棲生物にとっていい環境とは言えなくなっている。しかし地域からはまた以前のようにホタルを見たいとの願いもあり、自然環境の変化を危惧する声も挙がっている。

本校5年生はこの地域の人々の願いを受け、それまで使われていなかった池の再整備を行い、学校でもホタルを育てることができないか計画を立てた。そして、地域の川にホタルのエサとなるカワニナ、さらにその環境と整えるクレソンや砂などを採取しビオトープとしての池を作った。このようにして、ホタルの飛び交う高取地域を復活させるための活動を行っている。

この一連の過程の中で「地域の自然の大切さ」や「地元の人々の願い」を実感し、豊かな自然に囲まれ生活している自分たちが、これまでの実績を受け継ぎ、地域づくりの担い手になろうと意欲的な活動を見せている。



3 今後の活動計画

○ 1年生（生活科）「みんななかよし」（SDG 16）

- ・自分たちで見つけた秋を地域にある幼稚園・保育園の園児に伝え交流する。

○ 2年生（生活科）「レッツゴー町たんけん」（SDG 11）

- ・校区にある商店や病院などを訪ね、人々とのふれあいを発信する。

○ 3年生（総合）「わくわくドキドキお話たんてい団」（SDG 16）

- ・読書の楽しさを伝えることに興味を持ち、校内や地域に読み聞かせをする。

○ 4年生（総合）「心のキャッチボール」（SDG 3）

- ・お年寄りとの関わり方を通して、共に生きる社会をめざす。

○ 5年生（総合）「ホタルプロジェクト」（SDG 11、15）

- ・地域の豊かな自然を長く保っていくとともに、人々がつながり合い協力し合う町づくりをめざす。

○ 6年生（総合）「未来の大牟田を考えよう」（SDG目標 11）

- ・三池炭鉱や近代化産業遺産について調べ、未来の大牟田について、自分たちにできることを考え行動する。